

## 各分科会意見まとめ

## (1)本物のバスケットに触れられること

【方向・取組】

【10年後の目標】

		委員	平均値	
①	<b>〇バスケット資料の保存と活用を図る</b> 能代工業高校バスケットボール部の歴史の保存を図るとともに、バスケットの街の知名度を活かして、日本のバスケット資料の収集と活用を図ります。	→ バスケット資料館を設置し、バスケットの殿堂への展開を目指す	重要度評価	4.29
			実現度評価	3.82
街	・柳町移転後のミュージアムを活かしきれていない。機能強化を図るべき。			
ハ	・柳町に移転し、誘客も図れている。本等の資料については、図書館等しかるべき施設での保管すべき。ミュージアムは観光施設へシフトする方がいいのでは。			
競	・最重要課題。先人の偉業に対する敬意を形にして残し、伝えねばならない			
②	<b>〇能代カップの安定的な運営を図る</b> 第4の全国大会として定着してきた能代カップ高校選抜バスケットボール大会の安定的な運営を図るため、運営に関わる団体やボランティアの確保に努めます。	→ 能代カップの運営に関わる多くの団体やボランティアの定着を目指す	委員	平均値
			重要度評価	4.00
			実現度評価	3.40
街	・これまで、市が安定的な運営を図る為に積極的に関わってきたが、街づくりに繋がっていかないことは明確になっているので、継続して中身を再考する ・達成しているものの、ボランティア数が減っている。			
ハ	・市バスケット協会の事業ではあるが、市民が参画する形へ転換すべきでは。 体育館の中のことを協会が担当し、体育館の外のことについては、商工会議所等イベントや事業をできる団体へ役割分担して、運営の在り方を見直してはどうか。			
競	・大会運営に関わる更なるボランティアの確保が必要。 ・能代カップの支援企業の方にもボランティアなどで関わってもらう。			
③	<b>〇プロバスケット等のゲーム等を誘致・支援する</b> 秋田ノーザンハビネッツのbjリーグをはじめ、JBLやWJBLのゲーム、車椅子バスケットボール日本代表チームの強化合宿等の誘致・支援を行います。	→ 秋田ノーザンハビネッツホームゲーム等を誘致・支援する	委員	平均値
			重要度評価	3.59
			実現度評価	3.47
街	・興行的には、能代市総合体育館は収容人数が少ないためメリットがない。市からの補助金がなければ赤字興行となる。プロの試合を間近に見られる良い機会であるため、継続して良いと考える。メリットがわかりづらいので、中身を再考する必要がある			
ハ	・試合だけではなく、ハビネッツの合宿も誘致の検討をしてはどうか。（そのためには施設へエアコン等が必要だが）企業スポンサーのチケットと思われる席が、コロナ禍の中では目立ってしまう。スポンサーが使わないチケットの席に、誰か座れるようにしていくべき			
競	・コロナ禍において実施方法は検討が必要 ・実施側としても「バスケットの街能代」は活用できるはず			
④	<b>〇地元チームを応援・支援する</b> 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハビネッツをはじめとする地元チームについて、パブリックビューイングや自動販売機設置など、さまざまな形で応援・支援を行います。	→ 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハビネッツ等の地元チームを応援・支援する	委員	平均値
			重要度評価	4.12
			実現度評価	3.12
街	能代工業について ・JAがどれだけ続けられるかということも課題である。 ・応援、支援の仕方を再考する必要があるのではないか。	ハビネッツについて ・前問と同じ		
ハ	・能代工業高校を応援する勝手連のような組織があるといいのではないか。			
競	・下宿等の生徒に米を支援しているが、米以外（おかずや補食）の支援もどうか			
⑤	<b>〇バスケットクリニック等を開催する</b> 能代工業高校バスケットボール部や秋田ノーザンハビネッツ等を行役として、ミニバスチームを中心にバスケットクリニック等を開催します。	→ ミニバスチーム等へのバスケットクリニック等を開催する	委員	平均値
			重要度評価	4.00
			実現度評価	3.65
街	・これまで、様々な団体が個々に取り組んできた。次世代の強化として良い取り組み。 ・秋銀女子チームやOGの活用も選択肢の一つとすることも良い。			
ハ	・アカデミーの中で取り組んでいくといいのではないかな。			
競	・選手育成は重要課題。コーチ側にもクリニックは必要 ・U15クラブチームとの連携も可能だと思う			
⑥	<b>〇指導者等の育成を図る</b> 専門機関等との連携を図りながら、定期的な講習会を開催するなど、指導者や審判員等の育成を図ります。	→ 指導者や審判員等の定期的な講習会を開催する	委員	平均値
			重要度評価	3.88
			実現度評価	2.57
街	・県バスケットボール協会や競技団体が取り組むことではないかな。			
ハ	・アカデミーの中に指導者育成のセッションを作ったりできないかな。 加藤廣志先生の指導の研究や学会のようなもの、指導者のサミット等ができるのではないかな。			
競	・意欲のある指導者が積極的に関わられる環境づくりが必要			

## (2) バスケで誰でも集えること

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	<b>○バスケットファンやバスケット関係者が集える場を設ける</b> 市内や県内のバスケットファンやバスケット関係者をはじめ、全国のバスケットファンやバスケット関係者が交流できるよう集える場を設けます。	→ バスケットファンやバスケット関係者が集える場を設置し、継続する	委員	平均値
			重要度評価	3.71
実現度評価	2.76			
街	・バスケットミュージアムの機能強化が重要だが、そのアイデアは要検討。			
バ	・バスケットミュージアムが役割を担っていけるようになるべき。勉強会やイベントなどにミュージアムを活用すべき。			
競	・バスケットミュージアムはバスケット関係者が集いやすい場である。カフェ等の空間が充実していればより良い場となるのでは ・金銭でのパブリックビューイングも続けても			
②	<b>○バスケット関係の企画・イベントを行う</b> バスケの街づくり機運を高めるため、誰でも参加できるフリースロー競争やバスケット関係のコンテスト、交流会等の企画・イベントを行います。また、バスケット色になるような「バスケットの日」等の設定とイベント等の開催をめざします。	バスケット関係する企画・イベントを行う「バスケットの日」等に合わせたイベント等の定着を目指す	委員	平均値
			重要度評価	3.71
実現度評価	2.71			
街	・認知度が低い。それが実現度の低評価につながっているのでは。 ・取り組み方を再考。 ・次項目③と一体的に検討すべきではないか			
バ	・イベントに組み込んで開催している。「バスケットの日イベント」については、定着しているとは思えないのでやめる。			
競	・「バスケットの日」が定着していない ・もっと一体的なイベントがあってもよいのでは			
③	<b>○バスケットの各種大会等を開催する。</b> バスケットボール競技の底辺拡大や生涯スポーツ、チーム同士の交流の観点から、各種大会等を開催します。	バスケットボール競技の各種大会等を開催する	委員	平均値
			重要度評価	4.19
実現度評価	2.87			
街	・認知度が低い。それが実現度の低評価につながっているのでは。 ・前項目②と一体的に検討すべきではないか。			
バ	・各種大会を増やすために、バスケットの街づくりの観点から使用料の減免や使用しやすい施設にする取組を行っていく			
競	・体育協会が開催しているサマーリーグなどがある。夏休み期間であればU15チームも参加可能ではないか ・JR秋田や関東実業団チームを誘致する大会もあってはどうか			
④	<b>○大会運営ボランティア等の確保を図る</b> 大会運営に関わるスタッフ等の不足を解消するため、ボランティア等が参加しやすい環境づくりに努めるなど、ボランティア等の確保を図ります。	大会運営ボランティア等が参加しやすい環境づくりを行う	委員	平均値
			重要度評価	3.75
実現度評価	2.60			
街	・年代カップや各種イベントと一体的に検討すべき、機能強化が必要			
バ	・街づくりに参画したいボランティアを増やす取組を行う。			
競	・ボランティア募集の周知の仕方も課題 ・ボランティアであっても、何かしらの報酬（リターン）があれば継続に繋がる可能性もあるのでは			
⑤	<b>○体育施設等の活用を図る</b> バスケットボール競技の練習ができる環境を確保するため、体育施設や学校施設の活用を図ります。また、学校統合等による既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討します。	体育施設や学校施設の活用を図りながら、既存施設の活用を含め、専用コート設置等を検討する	委員	平均値
			重要度評価	4.24
実現度評価	3.09			
街	・現状、どのスポーツも体育館の稼働率が高く、予約に苦労している。バスケットだけが特別ではなく、他のスポーツへの配慮も必要。 ・開校した空き校舎の活用も考える			
バ	・体育施設の棲み分けを考える。「バスケット」、「フットサル」等使い勝手をよくして、情報の提供を行う。			
競	・施設を借りやすくする環境づくりも大切だと思う。 施設使用料の優遇や冬季間の暖房など			

## (3) バスケで地域が潤えること

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	<b>○合宿や大会の誘致を図る</b> 能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」、能代市総合体育館及び周辺エリアの魅力ある環境づくりを行いながら、合宿や大会の誘致を図ります。 あわせて、交流試合等をコーディネートする仕組みづくりをめざします。	→ 合宿や大会を誘致する交流試合等をコーディネートする仕組みの定着を目指す	委員	平均値
			重要度評価	4.35
			実現度評価	2.87
街	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致は、行政や体協が行っているが限界がある。競技団体を交えて取り組むことで効果が表れる。</li> <li>様々な競技団体が話し合う必要がある</li> </ul>			
バ	<ul style="list-style-type: none"> <li>合宿誘致にあたっては、エアコンが必要。</li> <li>バスケの合宿にあたっての使用料の見直し</li> </ul>			
競	<ul style="list-style-type: none"> <li>カテゴリーが違ってても参加できる合宿や大会があってもよい（中学、高校、大学、実業団が区分けなく）</li> </ul>			
②	<b>○企画・イベント等にバスケを組み入れ誘客を図る</b> 各種企画・イベント等にバスケの要素を組み入れることで、能代の独自性を高め、誘客を図ります。	→ 各種企画・イベント等にバスケの要素を組み入れる	委員	平均値
			重要度評価	3.65
			実現度評価	2.65
街	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール設定が見えない。そこから検討が必要。</li> <li>本来は実現度が高いと思うが、低評価なのは認知度が低いのでは。</li> </ul>			
バ	<ul style="list-style-type: none"> <li>やり方の見直しが必要。</li> </ul>			
競	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点を変えてみて、イベントにバスケ要素を組み入れるのではなく、人や団体がイベントに関わる機会をつくる</li> <li>何にでもバスケを付与する方法が確立されていない</li> </ul>			
③	<b>○バスケ関連のグッズや食を開発・販売する</b> バスケの街をPRできるようバスケ関連の多様なグッズや食を開発し、大会やイベント等に合わせた販売やネット販売も行い、そのPRに努めます。	→ バスケ関連のグッズや食の能代名物としての定着をめざす	委員	平均値
			重要度評価	3.65
			実現度評価	2.71
街	<ul style="list-style-type: none"> <li>すでに民間が実施済みであり、除外すべき。</li> </ul>			
バ	<ul style="list-style-type: none"> <li>グッズ開発よりもまずは人を呼び込むことが必要。</li> <li>既存の商品に「バスケの街のしるし」にちなんだ包装をするなど、既存の商品の梱包の仕方を見直す</li> </ul>			
競	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな共通したバスケマークがあってもよいのでは</li> </ul>			
④	<b>○グッズ等をライセンス管理する仕組みづくりを進める</b> バスケ関連グッズ等に統一したキャラクターやロゴマークを用いるなど、ライセンス管理の仕組みづくりをめざすとともに、商品の収益等をバスケの街づくりに還元する手法についても検討します。	→ グッズ等のライセンス管理で商品の収益等をバスケの街づくりに還元することを目指す	委員	平均値
			重要度評価	3.35
			実現度評価	2.44
街	<ul style="list-style-type: none"> <li>前項目③と関連があるが、民間の取り組みによるものであり、軌道に乗れば検討する。</li> </ul>			
バ	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケミュージアムが現在のロゴを活用して、グッズ展開を図る。新たなロゴ等の作成も視野に入れる。</li> <li>特許許諾の確認も必要になるが、カラーバリエーション等、使用しやすくする工夫が必要。</li> </ul>			
競	<ul style="list-style-type: none"> <li>「能代工業」ブランド的な商標権が得られるとよいかも</li> </ul>			

## (4) バスケが街なかで感じられること

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	<b>〇バスケットに関する拠点を設け情報発信を図る</b> バスケに関する拠点を設け、さまざまな情報の集約を行いながら、電子媒体を中心にさまざまな手法で情報の発信を図ります。	→ バスケに関する恒常的な拠点を確立し、情報の発信を行う	委員	平均値
			重要度評価	4.35
			実現度評価	3.35
街	・バスケミュージアムを軸に情報発信を強化すべき			
バ	・バスケミュージアムがその役割を担えるが、発信の仕方の工夫が必要			
競	・バスケミュージアムからの情報発信について工夫が必要 更なる情報発信の強化を			
②	<b>〇構造物等へバスケットを組み入れる</b> 構造物へバスケットのデザインなどを組み入れることで、街なかでのバスケットの雰囲気を広げます。	→ 構造物等へのバスケットの組み入れてバスケット色の街の景観をめざす	委員	平均値
			重要度評価	3.71
			実現度評価	3.18
街	・今まで様々な取り組みをしてきたが不完全燃焼で消えてしまっている。現状の取組では、バスケットの街を感じれるものはない。能代工業高校を目の前にしないと感じられない。街中にコートもない。・カソリンスタントのバスケットの絵が古すぎる。			
バ	・柳町だけでもバスケットカラーにするなどの取組が必要 街灯やマンホールなどもよいが、インスタ映えするようなスポットが必要。			
競	・街灯などもっと増やしてもよい。			
③	<b>〇バスケットロードへの展開を図る</b> 試行的に実施した「バスケット名言ストリート」をさらに発展させ、バスケットロードとなるよう展開を図ります。また、渋谷のバスケットボールストリートとの連携をめざします。	→ バスケットロードの定着を目指す	委員	平均値
			重要度評価	3.00
			実現度評価	1.94
街	・現状では、どこがバスケットロードなのか認知されておらず、実感が無い。メリットも感じられない			
バ	・あり方含め、見直しが必要。			
競	・現状のバスケットロードは定着しなかった ・芝罘森交差点から総合体育館まで、新たなバスケットロードを展開してはどうか			
④	<b>〇ストリートバスケットの環境整備を図る</b> 屋外に設置しているリングの活用を図りながら、イベント開催を含め、街なかでストリートバスケットができる環境の整備をめざします。	→ 屋外リングの活用を図りながら、街なかでストリートバスケットができる環境の整備を目指す	委員	平均値
			重要度評価	3.76
			実現度評価	2.63
街	・現状でもいくつかあるが環境が良くない。公園を整備して環境を整えるべき。 ・漫画「DEAR BOYS」の本牧東高校のようなイメージ ・より詳しい提言をまとめる必要あり			
バ	・市内にあると思うが、マップなどでのPRが足りない。 屋外リングを使ったイベントが必要			
競	・バスケットリングのマップ的なものがあるのもよい ・ストリートバスケットがしやすい場所を駅前や市役所駐車場隣に設置しては			

## (1)～(4) 共通

【方向・取組】

【10年後の目標】

①	<b>〇街づくり主体形成のための支援制度を設ける</b> バスケの街づくりへ広く民間等の参画を図るため、実施主体形成のための支援制度を設けます。また、募金を含め、バスケットの街づくりに関する基金の設置を検討します。	→ 募金等を含めた支援制度の確立をめざす	委員	平均値
			重要度評価	4.13
			実現度評価	2.33
街	・そもそも、この項目が、現行計画策定後に制度化された「チャレンジ事業補助金」という位置づけだが、誰も理解していない。認知度は低い。 タイトルを変えるべき。 ・チャレンジ事業は、バスケットの街づくりに活用されており、継続すべき。			
バ	・チャレンジ事業補助金は使い勝手が良いため、継続すべき。 ただし、継続している事業については、事業規模の拡大も含め、補助金額の増額を検討すべき			
競	・今のチャレンジ事業補助金よりも大きな、長期的な事業が可能になるような枠組みを検討するべきではないか			